

新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言

(令和2年3月19日 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議)

状況分析

- ・感染者の集団（クラスター）が各地で発生し、都市部を中心に新規の感染者が増えている状態。
 - ・現時点では、一定程度持ちこたえられている状態が続いているものの、一部の地域で感染拡大が継続している。
 - ・全国に拡大すれば、爆発的な感染拡大を伴う大規模流行につながりかねない。
 - ・国民の適切な行動変容により、国内での新規感染者数が若干減少した。
- ⇒これまでの感染拡大防止の方針を続けていく必要がある

地域の活動

- ・地域の感染状況に応じて、今後は感染拡大防止策を進めていく必要がある。
- ・感染が拡大傾向にある地域は、時期や期間を見極めたうえで地域における独自のメッセージやアラートの発出や一律自粛の必要性を検討する。
- ・感染が収束に向かい始めている地域並びに一定程度に収まってきている地域は、学校活動や文化施設の利用などの感染リスクが低い活動から徐々に解除を検討し、再び感染拡大の兆しがみられた場合には、活動の自粛や中止を行う。
- ・感染が確認されていない地域は、感染リスクが低い活動から自粛や中止の解除をしてもよい。

学校の対応

- ・春休み明け以降、多くの子どもや職員が日常的に長時間同じ空間に集まることで、感染リスクが高くなるため、近い距離での会話や大声での発生をできるだけ控える等の防止策が必要となる。
- ・感染が拡大している地域は、一定期間、学校を休校することも一つの選択肢である。

大規模なイベント

- ・全国規模のイベント開催は、主催者がリスクを判断し慎重な対応が求められる。
- ・開催する場合は、感染リスクが高い状況を徹底的に回避し、それが行えない場合は延期や中止をする必要がある。

医療体制

- ・重症者を優先する体制へ迅速に移行していき、症状が軽い患者や無症状の感染者は在宅療養とする。
- ・重症化リスクの高い者や高齢者、基礎疾患のある者は早めに受診してもらうほか、入院の対象を軽症者は一般病院、重症者は感染症指定病院で受け入れることとし、病院間での役割を明確にする。